

4. 家庭や地域との連携

算数を学習・活用するためには実生活との関わりが不可欠です。保護者の方へのメッセージを掲載したり、家庭や地域に関連した題材を取り上げたりして、算数学習がより充実したものになるよう構成しました。

家庭との連携

学習を習慣化し、生活で活用するためには、学校だけではなく家庭での取り組みも大切です。家庭での取り組みを促すことができるようなコーナーや題材を充実させました。

■ 保護者の方へ

家庭での学習を習慣づけるための保護者の方へのメッセージを、各学年の巻頭に掲載しました。

5年 p.1

保護者の方へ

算数科では、生活に必要な知識と技能を確実に身につけるとともに、筋道を立てて考え、新しいことを理解し、自ら判断し処理したり創造したりする力と態度を育むことをねらいとしています。第5学年では、これまでに学習してきた内容との関連をはかりながら、小数×小数、小数÷小数、分数の加減乗除、偶数・奇数、倍数・約数、合同な図形、三角形などの面積、体積、割合などの学習をしていきます。この本は、それらの知識をしっかりと定着させるとともに、実生活などいろいろな所で役立つ力が楽しみながら身につくようにつくられています。また、本学年では、子どもたちが1年間の見直しをもって主体的に学習に取り組むことができるように、1冊で構成されています。

学校で学習したことをしっかりと身につけたり、自ら学ぶ態度を身につけたりするには、家庭での学習を習慣づけることも大切です。ぜひ、保護者の方もこの本を通じて算数の楽しさや面白さを実感していただき、子どもたちの自主性を育てていただければ幸いです。

■ 算数で生活を見直す

算数を活用して、子どもたちが自分の1日の生活を見直す場面を用意しました。立てた計画を学校生活や家庭の中で実行することも期待しています。

3年下 p.104-105



けんこうでいきいきとすごすには、きそく正しく生活することがたいせつです。

① 話しあってみよう

朝ごはんを食べない日があるよ。

運動したあとのごはんはおいしいよ。

テレビをみる時間が多すぎて、おそくなっているよ。

食事、運動、休養、すいみんがたいせつだね。

② 調べてみよう

1日の生活のしかたで気をつけること

- ・ごはんをしっかりと食べる。
- ・元氣よく運動する。
- ・早く早起きをする。

9時間ねて、朝の6時に起きるには、夜の何時に寝るといいのかな。

③ 計画をたてよう

1日の生活の計画

- ・朝ごはんをしっかりと食べるために、午前6時に起きる。
- ・午前6時に起きるために、午後9時に寝る。
- ・1日に1時間は外で遊ぶ。

時間	活動
0	起床
午前6時	起床
午前7時	朝食
午前8時	朝食
午前9時	朝食
午前10時	外遊び
午後1時	昼食
午後2時	昼食
午後3時	昼食
午後4時	外遊び
午後5時	夕食
午後6時	夕食
午後7時	夕食
午後8時	夕食
午後9時	就寝
12時	就寝

たてた計画をためしてみよう。

104

105

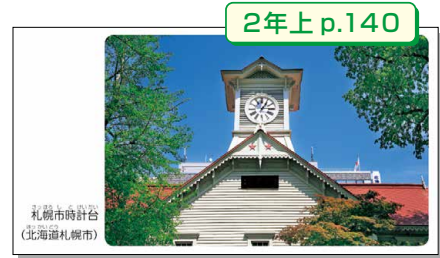
題材としては、防災教育(33ページ参照)や食育(30ページ参照)などの社会的に話題性の高いものを取り上げています。

■ 豊富な題材を用意

「夏休みの算数の自由研究」(15ページ参照)やオプションの「もっと練習」(9ページ参照)、「やってみよう」(11ページ参照)など、家庭でも自学自習できるものを多数用意しています。

■ 地域との連携

いろいろな地域の伝統や文化、産業、建築物などを題材として多く取り上げています。子どもたちが興味・関心をもって学習に取り組めるようにするとともに、地域社会との関わりの中で成長していけるようにしています。



この他にもたくさんの地域教材を取り上げています。(21, 23 ページなど参照)

■ コミュニティースクール

上のような題材をきっかけにして、学校と保護者、地域の人々が協働しながら「地域とともにある学校づくり」を進めていくことができます。